

令和8年度 特例研究について

研究開発課題

多様な個性や特性、背景を有する子供達を包摂する柔軟な教育課程の編成

< 一人一人の興味・関心に応じた学びの充実のための弾力的な教育課程編成 >



目指す子供の姿

「自分の良さを生かしながら、自分で課題を見つけ、解決する子供」

令和8年度 特例研究について

▶ 研究内容I（1日30分の学校裁量時間）

研究内容II（40分の授業づくり）

研究内容I（1日30分の学校裁量時間の使い方）

子供のための時間

教職員のための時間

学校裁量時間の割り当て

月	火	水	木	金
子供のための時間	教職員のための時間	教職員のための時間	子供のための時間	子供のための時間



月	火	水	木	金
学年タイム	団らんタイム	団らんタイム	探究タイム	探究タイム

研究内容I（1日30分の学校裁量時間の使い方）

子供のための時間

（1）学年タイム

月	火	水	木	金
学年タイム	団らんタイム	団らんタイム	探究タイム	探究タイム

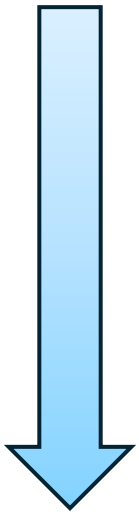
目的：学校教育目標の「ふるさと可也を愛し、他と共に
よりよく生きる子供の育成」から、ふるさと（可
也）愛を育むために、地域に目を向ける。

研究内容I（1日30分の学校裁量時間の使い方）

（1）学年タイム

内容：地域の特色を生かした取組

（低学年）



（高学年）

例）フィールドワーク

自然観察

地元の自然素材を使った学習活動

産業・文化体験

地域への貢献活動

研究内容I（1日30分の学校裁量時間の使い方）

子供のための時間

（2）探究タイム ※対象：3年生以上

月	火	水	木	金
学年タイム	団らんタイム	団らんタイム	探究タイム	探究タイム

目的：「好き」を育み、「得意」を伸ばす。
（探究的要素をもつ学習活動を設定）

研究内容I（1日30分の学校裁量時間の使い方）

実施の流れ

- ①自分が学びたい「問い」を考える。
- ②「問い」について探究する。
- ③11月と2月に報告する。

前半の部（6月～11月）

後半の部（12月～2月）

研究内容（1日30分の学校裁量時間の使い方）

子供のための時間

教職員のための時間

学校裁量時間の割り当て

月	火	水	木	金
子供のための時間	教職員のための時間	教職員のための時間	子供のための時間	子供のための時間



月	火	水	木	金
学年タイム	団らんタイム	団らんタイム	探究タイム	探究タイム

研究内容I（1日30分の学校裁量時間の使い方）

教職員のための時間

団らんタイム

- ①学び合いの場
- ②教職員の親睦を深める場
- ③授業や探究タイムの準備
- ④児童の情報共有

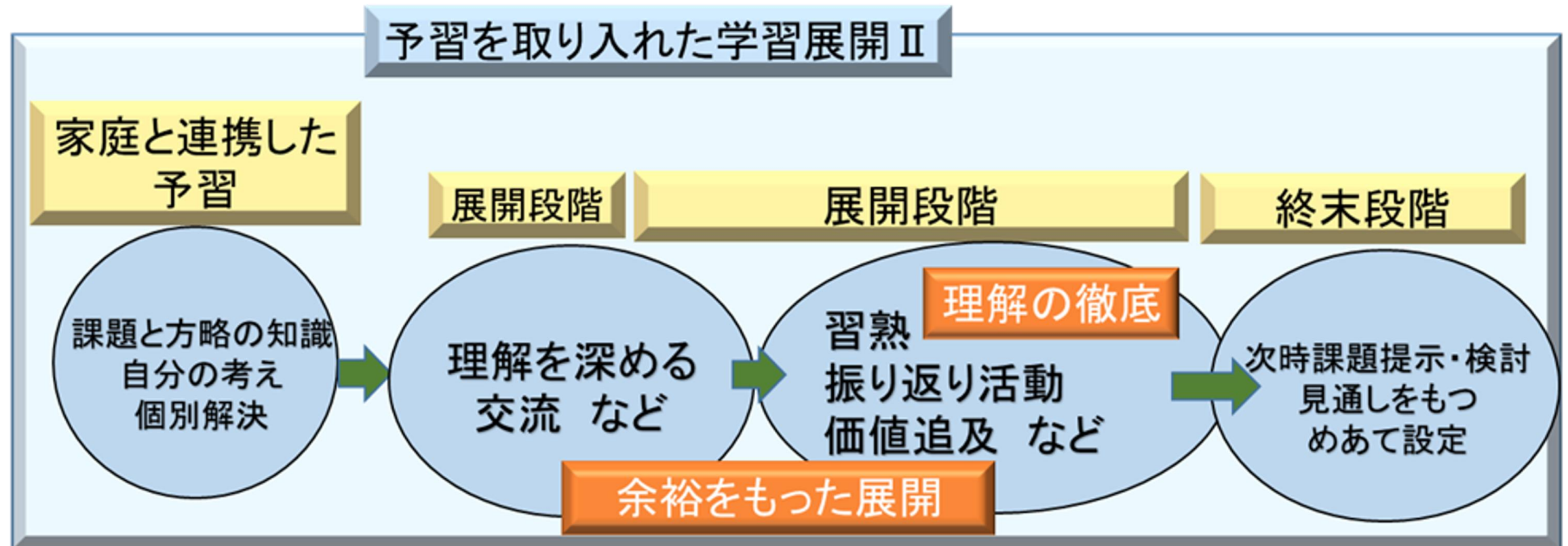
令和8年度 特例研究について

研究内容I（1日30分の学校裁量時間）

▶ 研究内容II（40分の授業づくり）

研究内容Ⅱ（40分の授業づくり）

予習を取り入れた授業
（校内研究での授業づくり）



研究内容Ⅱ（40分の授業づくり）

予習の例（第3学年）

(1)問題1をこれまで学習した方法を用いて、課題解決できないか考えさせる。←

1

ジュース $\frac{2}{5}$ Lと $\frac{1}{5}$ Lを
あわせると何Lですか。

(2)前回とのちがいに着目させて交流させる。←
※あわせるのだから分数のたし算になるだろう。←
※式は書けるけど、計算の仕方が分からない←
(3)前回とのちがいからめあてを立てさせる。←

○問題を事前に取り組ませておくことで、見通しを持った状態で学習に入ることができた。←

←

○予習段階で課題を解決できていた児童に関しては学びを強化することができた。また、←

←

○予習段階で式は立てることができたが、計算の仕方が分からない児童も数名いた。どのように計算したら良いのか、授業時に焦点化することができた。←